



**9/15 町最高齢者 瀧田フミさんを町長が表敬訪問**

9月1日現在で町最高齢者となった瀧田フミさん(下高根沢)の元を見目町長が表敬訪問しました。瀧田さんは、大正6年生まれの104歳で、歌やおしゃべりを楽しんだり杖をつきながら歩いたり元気に過ごしています。記念品と花束が手渡されると、祝詞の文字を読んで表彰を喜んでいました。



**8/30 通学路危険箇所点検**

町と真岡警察署、県真岡土木事務所、町内小中学校から17人が参加し、通学路の危険箇所点検が行われました。町内小中学校から町へ寄せられた場所のうち、特に各機関で対応を協議する必要のある4カ所を見回りました。見通しが悪い坂道や狭い道幅などについて、改善策が話し合われました。



**芳賀中学校でプロジェクトH進行中**

芳賀中学校生徒会では、芳賀中学校と花火の頭文字から「プロジェクトH」と名付けた、アルミ缶を回収し花火を打ち上げる計画を進めています。地域の皆さんにアルミ缶回収への協力を呼びかけるため、芳賀チャンネルで流すコマーシャルの撮影を行いました。コマーシャルは、10月第一週に放映予定です。

**アルミ缶回収にご協力をお願いします**

新型コロナウイルスの影響で、私たちはさまざまな制限の中で生活をせざるを得ない状況です。そのような中、生徒会役員が中心となり、アルミ缶回収の益金で希望の花火を打ち上げるといった目標を立てました。この花火が、芳賀中生のみならず、一緒に制限の中で生活してきた卒業生やいつも支えてくれている地域の人々の希望になればと思っています。

芳賀中学校生徒会一同

アルミ缶回収の期間/12月末まで

回収場所/町第2体育館の北側

※常時回収かごを設置

打上げ日/令和4年2月23日(水)

※予定

〒芳賀中学校 ☎028(677)0392



**ふわふわエビカツ**

栄養価(1人当たり) エネルギー158kcal  
たんぱく質9.7g 脂質5.8g 塩分0.5g

●ヘルシーポイント

○揚げ物は、細かい乾燥パン粉でヘルシーに。

- 材料(4人分)  
冷凍むきエビ..... 120g  
はんぺん(大判タイプ)..... 1枚  
タマネギ..... 1/4個  
片栗粉..... 大さじ1  
小麦粉..... 大さじ4  
水..... 大さじ4~5  
パン粉..... 適量  
揚げ油..... 適量

- 作り方  
①むきエビは背わたを取って水洗い、水気を拭き取ります。  
②タマネギはみじん切りにします。  
③はんぺんは、ちぎって10秒ほどフードプロセッサーにかかけます。さらに、むきエビを入れて5秒かけます。  
④③をボウルに移し、タマネギと片栗粉を加えて混ぜ合わせ、4等分して成形します。  
⑤小麦粉と水を混ぜ合わせ、バター液を作ります。  
⑥④をバター液→パン粉の順に付け、油で揚げます。

食生活改善推進員は、食を通じた健康づくりを推進しています。地域の人々を対象とした教室を開催予定です。

「芳賀チャンネル」で町のさまざまな話題を放送中! 加入は宇都宮ケーブルテレビ☎028(638)8092まで

**はがの文芸**

町文化協会では参加者を募集しています。詳細は町民会館まで  
☎028(677)0009

**短歌**

梅挽ぎる陽当たる上は大きくて  
日陰の下は小ぶりが多数  
荷見 泰一(芳志戸)

容赦なくこれ見よがしに伸びる草  
草むしり楽しむ亡母の教え  
早稲田 喜久枝(八ッ木)

**俳句**

廃屋の庭を彩どる百日紅  
稲川 清子(与能)

集中の豪雨に浸る早稲田かな  
大村 かし子(下高根沢)

**川柳**

朝食べて薬数える共白髪  
小林 正孝(祖母井)

自肅にも馴れて草取り畑仕事  
高松 イク(下高根沢)

つゆどきの今日も体温計る部屋  
仏の新茶の香り漂よう  
丸山 芳江(祖母井)

益子焼のカップに熱き珈琲の  
香りに過る久し女子会  
鈴木 みき(東高橋)

風そよぐ子等と花野を駆けめぐる  
菅俣 光子(祖母井)

夕映えに黄金となりぬ稲の原  
光岡 れい子(益子町)

うんうんと反論せずに介護する  
大谷津 眞記子(芳志戸)

ワクチンがオリンピックの背中押す  
加藤 秀男(市貝町)

※「お楽しみ川柳」参加者



**あなたの声を聞かせてね! お便り待ってます!**

●身近な出来事や町に関する要望・意見

芳賀町文化協会会長 駿河富夫さん(稲毛田)からの投稿

家族とは人間の宝です。10歳の君へ  
日野原重明医師の話から

代わり映えのない何でもない毎日も人生の宝物です。家庭の味噌汁の味が舌が覚えているように、家族との関わりの中で過ごす毎日は「芯」として人の中にいつまでも残っています。一緒に生活していると気が付かないかもしれませんが、いつか家を離れてみて、家族との何でもない会話が懐かしくなるでしょう。当たり前のように過ごしてきた日常、特に、家族と生活した時間は人生の宝物になるのです。

高松イクさん(下高根沢)からの投稿

**出会いと別れ**

人生路とでもいうのでしょうか。さまざまな出会いがあって別れがある。出会いが喜びにつながり、何度も何度も繰り返しながら楽しかった人生の時間を多く持つ。振り返った時に深い感動を思い起こせる、思い出いっぱい的人生でありたい。人生誰にでもたくさんの出会いと別れがあるのだから。  
「たくさんの思い出残る人生路」



高松イクさん(下高根沢)



早月さん(稲毛田)



赤沢洋子さん(下延生)



鈴木モコさん(西高橋)